

# やまぎん アジアニュース

2019年12月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288  
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【ベトナム駐在員】

## ベトナムの消費市場について

### 1. はじめに

シンチャオ！（ベトナム語の「こんにちは」です。）今月号よりベトナムからアジアニュースをお届けいたします。皆さんはベトナムに対してどのような印象をお持ちでしょうか？技能実習生制度や、海外旅行で行きたい国の上位にランキングされる等、日本にとって身近な国となっているのではないのでしょうか。

さて、現在、ベトナムでは消費市場として外資企業の進出が盛んになっており、今月には、遂にユニクロのベトナム店舗第1号店がオープンしました。今回は、ベトナムにおける消費市場について紹介したいと思います。

### 2. 消費市場が好調な背景について

#### a) 外資企業への規制緩和

日本と異なり、ベトナムで事業を実施するには、当局から許可（事業ライセンス）を取得する必要があります。何でも出来る訳ではなく、WTO公約に基づき、外資企業が実施できる事業範囲が定められています。

小売業については2009年1月より、飲食業については2015年1月より、外国資本100%による進出が認められるようになりました（一部、品目規制や出店規制は残っています）。

法整備が不十分なベトナムでは、毎年のように法改正が行われていますが、ベトナム政府にとっても、外資企業の進出は市場の活性化や、税収の増加が期待できることから、今後も外資企業にとってプラスとなる規制緩和が期待されています。

#### b) 若年層の多い人口構造、可処分所得の増加

今年度実施されたベトナム国勢調査によると、2019年4月末時点の人口は9,620万人で、2030年までには1億人を超えるとも言われています。また、平均年齢が約31歳のベトナムでは、15～65歳の生産年齢人口が70%弱を占めています。

2020年の最低賃金については、平均5.5%の増加が見込まれており、ここ数年は5～7%の範囲で推移しています。また、労働者優位のベトナムでは、副業に関して規定を設けている企業は少なく、オフィスワーカーでありながら、会社を経営していたり、休日はタク

シードライバー等をする人も多く存在し、実質的な可処分所得は更に増加しています。

c) ショッピングモールやコンビニエンスストアの増加について

ベトナムでは、家族経営の伝統的な小規模店舗（右写真：筆者撮影）が未だに多く存在していますが、近年ではイオンモールや高島屋といった大型ショッピングモールや、セブンイレブンやファミリーマートといったコンビニエンスストアが急増しています。

特に、コンビニエンスストアの増加は顕著であり、2018年の店舗増加率は45.5%となっています。

現在はベトナムのコングロマリット企業であるビングループによる「ビンマート」が約2,000店舗展開しており、最大規模となっていますが、韓国のGSリテールは10年後までに2,500店舗（現在51店舗）をオープンする戦略を立てており、競争が激化する見通しです。



特定の商材のみを扱っている小規模店舗から、多様な商材を取り扱っている近代型店舗への変遷も、小売市場の拡大に大きく貢献しています。

d) 小売市場の拡大について

ベトナム統計局によると、近年の小売市場は急速に拡大しており、2010年の880億USD（約9.8兆円、@111.36円）から2017年には1,300億USD（約14.4兆円、@110.77円）へと増加し、2020年には1,800億USD（約20兆円、@111.11円）に達する見通しとされています。

また、所得の増加に伴い、ベトナム人の消費ニーズは、「価格の安さ」から「品質の良さ」に変化しているように感じます。ベトナム人は、「日本製は安心、品質が良い」というイメージを持っており、今後も日本製品の需要は高まっていくと考えられます。

冒頭にも記載しましたが、12月6日からユニクロのベトナム店舗1号店（右写真：筆者撮影）がホーチミンにオープンしました。現在の商品の大半がベトナム製となっている中、今まで店舗がなかったことが不思議なくらいですが、ユニクロの店舗出店は、ベトナムが消費マーケットとしての魅力が高いことを表しているのではないのでしょうか。今後も外資企業の進出動向に注目していきたいと思えます。



3. おわりに

現在、山口フィナンシャルグループより、現地商業銀行及び現地コンサルティング会社への出向として、ホーチミンに2名常駐しております。山口銀行の海外拠点同様、ベトナム

---

ムにおける市場調査や企業訪問のセッティング、アテンド対応などのご相談を承っております。ご要望につきましては、お取引店、または山口フィナンシャルグループ海外戦略部までお気軽にお問い合わせください。

(ベトナム駐在員 織田 恭範)

【参考文献】

・JETRO

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/11/95cbe9af10177409.html>

・ベトナム総合情報サイトベトジョー

<https://www.viet-jo.com/news/statistics/190711202413.html>

<https://www.viet-jo.com/news/economy/190618193838.html>

<https://www.viet-jo.com/news/economy/190325195448.html>

<https://www.viet-jo.com/news/nikkei/190716174539.html>

<https://www.viet-jo.com/news/economy/180412132146.html>